



SON-DAY, MAY 24th 2026 PENTECOST SERVICE No.1166

✠ 単立キリスト教会 マラナサ・グレイス・フェロースhip Maranatha Grace Fellowship [MGF] Since Jan. 18, 2004

教会所在地：〒380-0802 長野市上松2丁目7-20 ☎: 026-219-2388 牧仕：Kaz、菊地 一徳 (かずなり)

✧ <https://mgfchrist.com> ✧ www.facebook.com/mgf.nagano.japan ✧ jesus-mail@mgfchrist.com

MGF は、☑神第一主義、☑キリスト中心主義、☑聖霊主導主義の教会

礼拝黙想 Meditating on Worship

「マクドナルドで注文を 101 回間違えられても、あなたはまた通い続ける...

教会で何か一つでも間違いがあると、あなたは辞めてしまう。みんな単にお腹が空いてないだけなんだ！」

A フィリップ・ヤンシー曰く教会は・・・

必ずしも信仰がしっかりしているから行く、という場所ではなくて、手に何も持たず信仰が乏しいからこそ行く場所。

神を礼拝する場所。

神を礼拝する人々が、神と出会う場所。

(会衆ではなく) 主賓である神に喜んでもらう場所。

表面上の共通点がない多様な人々が、イエス・キリストへの信仰という唯一最大の共通点を与えられ集う場所。

全ての人の利益のために存在する、世界で唯一の共同社会である。

肥料のようなもの。ただ積み重ねておくと周囲に悪臭を放つ。けれども、広く蒔くと世界を豊かにする。

競争や比較、批判否定といった害毒を取り除いてきよめ、恵みで満たしてくれる場所。

「キリストにある」という新しいアイデンティティを祝い、よく働かせる場所。

「この世界」とまったく相反する集団。

神を見上げることを学ぶと同時に、自分の周囲の人々をも見ることを学ぶ場所。

エンターテイメントよりも礼拝を、画一性よりも多様性を、排他性よりも周囲への奉仕を、律法よりも恵みを多く提供すべき場所。

神の福祉事務所、つまり目の見えない人を癒すため、捕らわれた人を解放するため、飢えた人に食物を与えるため、そして貧しい人に福音をもたらすために設立された組織である。これが、イエスが与えてくださった本来の使命である。

神の応急センターである。終夜開いており、見つけやすい場所にあり、予期せぬ事態に遭遇し困って訪ねてくる人々の必要に喜んで答える場所である。

私たちが自らの痛みをもって来ることのできる所である。なぜなら教会は、私たちにいのちを与えるためにご自分のからだを裂かれたお方によって建てられたのだから。

「よく教会という所はこの世の最も清らかな人たちが集まっている所だと錯覚して、教会に来る人もあるが、教会は決して美しい人の集まりではない。教会は神の前にも、人の前にも頭を上げ得ない罪人だと、自分を思った人たちが集まっている所はずなのだ。だから、人に何かを求めるのではなく、神に求めていかなければ、人々は絶望するかもしれない。」(三浦綾子)

「クリスチャンや地域教会によって嫌な思いをしたからといって、教会やキリスト教全体を避ける理由にはならない。看護師や病院で嫌な思いをしたからといって、医療全体を避ける理由にはならないのと同じだ。神があなたをひどく扱ったわけではない。人がしたことだ。」(シェーン・ブルイット)

「地域教会に属さずにクリスチャンでいられると思うのは、軍隊に属さずに兵士でいられると思うようなものだ。私たちは他の信者たちの責任の共有と交わりが必要なのです。」(トレバー・シーツ)

「教会なしの人生は、まるで舵のない船のようである。自分一人できると思ったら大間違いである。たとえば、体を鍛えたいならば、トレーニングジムに行って、専門家からの訓練を受ける必要がある。自分で自分を鍛えることはできない。信仰に関しても同じことが言える。教会は魂のトレーニングジムであり、神父、牧師、伝道者たちは、トレーナーであり、苦難の時に導いてくれて、自分では到達できないと思っていたところへ、行けるようにしてくれる。多くの人が、神と一対一の関

係を持っているから大丈夫だと言い張るが、それは教会に行くことを億劫(おっくう)がっているだけであろう」

「教会に行けば行くほど、イエスへの信仰は強められ、みことばにお委ねすることでプレッシャーから解放される。」(シルベスター・スタローン)

偽善者たちがいるからという理由で教会に行かないのは、体型の崩れた人たちがいるからという理由でジムに行かないのと同じだ。

「教会は偽善者に満ちている」という理由で、イエスを拒絶する人をあなたは知っていますか。そのような人が居ても不思議ではないでしょう。しかし教会でいやなことがあったり、指導者がイエスの弟子として模範的でないと感じたりした時、なぜ人々が教会から離れてしまうかが容易に理解出来ます。しかしそれはイエスを拒む正当な理由でしょうか。

音楽の世界には、モーツァルト、バッハ、ベートーベンのようにクラシック音楽の巨匠と呼ばれる人々が居ます。世界的なオーケストラの卓越した演奏を聴くと、心が魅了されます。しかし例えばバッハの曲を小学5年生のオーケストラが演奏したとします。それは完璧からほど遠いでしょう、しかし誰もバッハの天性の才能を疑わないでしょう。それは当然のことです。しかし教会が完全からほど遠いと、多くの人がイエスに従う意味に疑問をはさみます。

教会を理由にイエスを拒む人にとって、忘れてならない事が二つあります。第一に、教会がどの程度イエスを具現化しているか否かに関わらず、イエスは常に完全なお方であるということ。第二に、イエスの臨在が教会や教会員の間で充分でないと感じられたとしても、それはイエスの意志ではないということです。教会は今なおイエスの働きが進行中の場所なのです。イエスはついに、「しみや、しわや、その類いのものが何一つない」「聖なる、汚れのない」教会にしてくださいませ。十代の少年のように、教会は荒削りで、洗練されていないように見えるかもしれませんが、しか

TRUE WORSHIPPERS, HOT GOSPELLERS, JESUS FREAKS

To Know Christ And To Make Him Known ☑ Love God And Love People ☑ Jesus Is Coming

しどんな息を飲むように美しい花嫁でも、かつてはごちない少女でした。ある日教会は、キリスト・イエスの花嫁として整えられるでしょう（黙示 19：7）。そして聖書が教えるように（黙示 22：5）、教会はイエスと共に世々限りなく統治するのです！（「ザ・ホープ」より）

『教会は偽善者で満ちている。』それがどうしたっていうのだ？イエスは『わたしの民について行きなさい』とは決して言われなかった。イエスは『わたしについて来なさい』と言われた。（マーク・スペンス）

「ある日、イエスの前に立って、「私があなたに従わなかったのは、教会にいる偽善者たちのせいです」と言ったとしても、それは受け入れられる言い訳ではない。他人の行動によって、神に召されて行うことをやめることがないにしよう。」（シェーン・プルート）

クリスチャンがヘマするのを期待しているなら、彼らはヘマするでしょう。牧師が何か間違っただけを言うのを期待しているなら、彼はそうするでしょう。教会に通う人が偽善者のように見えるのを期待しているなら、彼らはそうするでしょう。汚点を掘り起こすのを期待しているなら、あなたはそれを見つけてしまうでしょう。クリスチャンの欠点は神が偽物である証拠ではなく、神が無限に強力で、忍耐強く、寛容である証拠なのです。

ある女性メンバーが「もう教会へは来ない」と言った。

牧師：理由を教えてくださいませんか？
女性：私はある人たちが礼拝中スマホをしているのを見かけます。何人かは悪口さえ言っています。ある人たちはちゃんと正しく生きてません。彼ら全てはただの偽善者です。

牧師は、少し沈黙した後口を開き、
牧師：分かりました。それでは最後に一度だけ、あなたに頼みたいことがあるのですが、聞いていただけますか？
女性：何でしょうか？

牧師：グラスに水を満たし、それで教会内を歩いて2周してください。ただし水をこぼさないようにしてください。
女性：ええ、出来ますよ。

女性はほどなく戻り「出来ました。これで終わり。」と言った。

そこで牧師は女性に三つの質問をした。
牧師：①あなたはスマホをしてる人を見ましたか？

②あなたは悪口言ってる人を見ましたか？

③あなたは間違っただけを言う人を見ましたか？

女性：いえ。見ませんでした。私は水の入ったグラスに集中してたものですから。それで水はこぼれなかったのです。

牧師：あなたが教会に来る時、あなたはただ神にのみ集中すべきなのです。そうすれば、あなたは“こぼれる”ことがないのです。だからイエスさまは「私について来なさい。」と言われました。「クリスチャンについて来なさい。」とは言われなかったのです。あなたと神との関係を、“他者がどう神と関わるか”によって決めてはなりません。自分がいかに神と共に歩むかに集中して、神との関係を決めましょう

時には、いわゆる教会は、真のキリスト教会ではなかった。教会は、神が定められた目的を追求することに、しばしば失敗した。教会は、あるときには迫害する勢力であり、あるいは不従順な者、時には霊的でない団体、更には脱落者の群れであった。霊的な洞察力を持った人々は、時にはこのような団体から離れようと思ひ、組織としての教会は不必要であると考えようにさえる。聖職者の階級的支配、教会の形式主義、政略、分派、異端などが、教会を引き裂き、そのあかしをそこない、その力を無力にしまった。

これらのすべての事にもかかわらず、私たちは、目に見える教会が神によって造られ、しかも人のために造られたものであることを、強調しなければならない。キリスト者は、どんな理由を示しても、すべての信者が集まって礼拝しなければならないという真理を見逃すことはできない。真にキリストに従う者は

すべて、なんらかの方法で、キリスト者の交わりに加わらなければならない。教会は人間を必要としているが、それ以上に、人間が教会を必要としている。たとえ、教会があるべき姿を保っていないなくても、私たちは教会を浄化し、神が意図しておられたところに教会を引き戻すべきである。

たぶん、ジャン・カルヴァンの言葉が、前述した相違点を明確にするのに役立つであろう。「この教会（目に見える教会）には、名前と外見のほかには何もキリストのものを持っていない多くの偽善者が含まれている。多くの人々は、野心家であり、強欲であり、嫉妬が強く、他人の悪口を言い、放埒な生活をしている。彼らは、適切な処置によって自分の罪を認めることができないためか、戒規が必ずしも常に十分な威力を持っていないために、しばらくの間寛大に取り扱われているのである。しかし、私たちの目に見えない教会を信じ、神だけに知られることが必要であるように、人々の目に見えるこの教会を、私たちはあがめ、教会との交わりを保つように命じられているのである。」

ハロルド・リンゼル/チャールズ・ウッドリッジ共著『聖書教理ハンドブック』より

「そもそも完璧な配偶者や完璧な両親、完璧な子どもなんているのだろうか。欠点があると言って家族を捨てたりしない。それなのになぜ、教会に見切りをつけるのだろうか。」

「完璧さを求めて教会の門をくぐる人は、神の負われたリスクの本質や人間の本質を理解していない。ロマンチックな人が注意しなければならないのは、結婚は始まりであって終わりではないということだ。愛を持續させるためには苦闘が伴うことを学ばなければならない。それと同じように、クリスチャンはだれでも、教会もまた始まりにすぎないということ学ばなければならない。」（フィリップ・ヤンシー） Ω

<お知らせ Announcement>

- ★5月31日（日）ディアコノス・ランチ
- ★6月7日（日）ポットラック

MGF はキリスト狂徒の集まるキリスト狂会

「教会 [マラナサ・グレイス・フェローシップ (略称: MGF)] はキリストのからだであり、すべてのものをすべてのもので満たす方が満ちておられるところです」(エペソ 1:23)。「あなたがた [MGF] は、キリストにあって満たされているのです。キリストはすべての支配と権威のかしらです」(コロサイ 2:10)。